

経済学部経済学科 カリキュラムツリー

D P	C P	1 年		2 年		3 年		4 年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
A-2 経済理論と実証分析の基礎を理解し、市場の役割と限界や数量的分析の有用性を認識できる。	A-2経済理論の基礎を学び、経済学的な思考に基づいて現実の経済現象を理解するための初級の理論経済科目と、数量分析の基礎を理解するための科目を、それぞれ1年次及び2年次を中心に配置する。	△マクロ経済学Ⅰ ◎経済学入門	△経済数学Ⅰ △ミクロ経済学Ⅰ						
A-3 経済政策や経済史、応用経済学の基礎を理解し、現実経済・社会の実態を多面的に把握できる。	A-3 現代経済の実態を歴史的に分析するための経済史科目や、日本経済の現状と課題及び、環境・労働・地理と経済の関係を理解する入門的な経済学科目を、それぞれ1年次より配置する。	民法 A 政治経済学	△世界と日本の経済	△経済地理 △経済思想史 環境経済学 労働経済学 政治学原論Ⅰ	△経済政策Ⅰ 社会政策 国際法 アメリカ経済史 △国際経済学 政治学原論Ⅱ	商法 A	△日本経済史 △西洋経済史 日本経済論		
A-4 経済学分野及び隣接する分野の知識と技能を、適切に獲得・活用することができる。	A-4 グローバリゼーションの実態と日本を含む世界全体の諸相を広く学ぶ国際経済や外国語関連等の科目を、1年次より配置する。	△経済英語表現Ⅰ	△経済英語Ⅰ Problem Solving Skills for Global IssuesⅠ Problem Solving Skills for Global IssuesⅡ	経済英語Ⅱ △時事英語Ⅰ △外国語検定 A（2単位） △外国語検定 A（4単位） △外国語検定 B 時事中国語Ⅰ 資源経済論 東南アジア経済論 中東経済論 世界経済論 日本史 A 外国史 A 人文地理学 A 自然地理学 A 地誌学 A 現代哲学思想 A	経済英語表現Ⅱ 韓国語会話 中国経済論 アメリカ経済論 日本史 B 外国史 B 人文地理学 B 自然地理学 B 地誌学 B 現代哲学思想 B	経済英語Ⅲ 時事中国語Ⅱ 海外直接投資論 韓国経済論	時事英語Ⅱ 経済英語表現Ⅲ ヨーロッパ経済論		
B-2 経済学特有の思考方法を身に付け、論理的な議論や合理的な意思決定ができる。	B-2 より高度な経済理論を用いて、現実の社会経済を分析する能力を養うために、中級以上の理論経済学科目と、財政・金融・環境・産業・労働・社会保障等の応用経済学科目を、それぞれ3年次を中心に配置する			△ミクロ経済学Ⅱ △マクロ経済学Ⅱ 経済数学Ⅱ 国際政治学		△環境政策 △財政学 △金融論 △産業組織論 △社会保障論 公共経済学 地方財政論 △証券投資論 地域開発論 国際金融論 社会思想史	△経済政策Ⅱ △労働政策 法と経済学 △医療経済学 発展途上国経済論 国際経済開発論 国際経済政策 比較経済制度論		
B-3 データを科学的に分析し、先入観にとらわれずに客観的な結論を導き出し、自分の考えを表現することができる。	B-3 経済データの特性を理解し、それらを有効に活用するために必要な基礎知識を学ぶとともに、実証分析の基礎と応用について実践的に学ぶ統計・計量経済・簿記・会計関連科目を、2年次を中心に配置する。	△基礎統計学 簿記原理Ⅰ	△経済データ分析実習Ⅰ 簿記原理Ⅱ	△計量経済学Ⅰ △経済データ分析実習Ⅱ 会計学原理Ⅰ 簿記原理Ⅲ	△統計学総論 会計学原理Ⅱ 簿記原理Ⅳ	計量経済学Ⅱ 経済統計論			
C-2 経済社会の諸問題を理解し、経済学的な視点で実践的解決法を見出すことができる。	C-2 経済学的な視点を学びながら、少人数で様々なテーマについて協力して研究を行う場であり、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を鍛える演習科目を、1年次より配置する。	◎基礎演習Ⅰ	まちづくり・ひとづくり実習	△基礎演習Ⅱ マクロ経済学実習 経済情報処理実習 経済英語実習	ミクロ経済学実習				
D-2 経済社会の変化に適切に対応するため、経済学等の理解を通じて今後の見通しを立てることができる。	D-2 経済学の実践的な知識と応用力を身に付け、世界の中での日本経済の諸課題を解決するための演習科目等を、3年次を中心に配置する。			△金融・ファイナンス実習		◎演習Ⅰ △キャリアのための資格（2単位） △キャリアのための資格（4単位）	△演習Ⅱ △卒業論文		

※◎は必修科目、△は選択必修科目を表す。

経済学部国際経済学科 カリキュラムツリー

D P	C P	1 年		2 年		3 年		4 年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
A-2 国際社会の変化とビジネスのグローバル化について、歴史や文化等の観点から自分の考えを説明できる。	A-2 グローバリゼーションの実態や世界全体の諸相について理解を深めることができるよう、テーマに沿って複数の国や地域を横断的に学ぶ科目、日本と関係の深い諸国の経済について専門的に学ぶ科目、政治経済・社会・文化等の多様な側面から歴史的に分析する科目を、1年次より配置する。	政治経済学 民法 A	△世界と日本の経済	経済思想史 △資源経済論 △世界経済論 △東南アジア経済論 △中東経済論 日本史 A 外国史 A 人文地理学 A 自然地理学 A 地誌学 A 環境経済学 経済地理 政治学原論 I 現代哲学思想 A	△アメリカ経済史 △アメリカ経済論 △中国経済論 日本史 B 外国史 B 人文地理学 B 自然地理学 B 地誌学 B 社会政策 政治学原論 II 国際法 現代哲学思想 B	△韓国経済論	△日本経済史 △西洋経済史 △ヨーロッパ経済論 日本経済論 商法 A		
A-3 モノ・カネ・ヒト・情報の国境を越えた移動について、市場が果たす役割と限界を理解できる。	A-3 人々の自由な意思決定に基づいて行われるモノ・ヒト・カネ・情報の国境を越えた移動がもたらす経済的成果と限界及び、これらに対する政府の介入の意義を考察するための理論経済学科目を、1年次及び2年次を中心に配置する。	◎経済学入門 簿記原理 I	△経済数学 I △マクロ経済学 I △ミクロ経済学 I 簿記原理 II	会計学原理 I 簿記原理 III	△国際経済学 労働経済学 △経済政策 I 会計学原理 II 簿記原理 IV	△海外直接投資論			
A-4 外国語で発信された経済及び隣接分野に関する情報を収集し、正しく理解することができる。	A-4 経済に関する専門的な英語文献を理解するための科目や、実践的な会話を重視し英語運用能力を向上させる科目、また、中国語や韓国語を学習する科目を、1年次及び2年次を中心に配置する。	△経済英語 I △経済英語表現 I	Problem Solving Skills for Global Issues I Problem Solving Skills for Global Issues II	△時事英語 I 時事中国語 I △外国語検定 A (2 単位) △外国語検定 A (4 単位) △外国語検定 B 韓国語会話	△経済英語 II △経済英語表現 II	時事中国語 II	△経済英語表現 III 時事英語 II 経済英語 III		
B-2 現実の国際問題・経済問題を経済学特有の思考方法等に基づいて考え、判断することができる。	B-2 労働・環境・社会保障等の分野における各種政策の意義を国際比較を通じて学ぶ科目や、海外事例を含む財政・金融の仕組みを学ぶ科目を、2年次及び3年次を中心に配置する。			国際政治学 マクロ経済学 II ミクロ経済学 II		地域開発論 産業組織論 環境政策 公共経済学 財政学 金融論 △国際金融論 地方財政論 社会保障論 社会思想史	法と経済学 経済政策 II 労働政策 △国際経済開発論 発展途上国経済論 医療経済学 証券投資論 △国際経済政策 △比較経済制度論		
B-3 経済及び隣接する分野のデータを理解し、必要に応じて適切に収集、加工することができる。	B-3 経済データの特性を理解し、それらを目的に応じて有効に活用するために必要な基礎知識を学ぶ科目を、2年次を中心に配置する。	△基礎統計学	△経済データ分析実習 I	計量経済学 I 経済数学 II	統計学総論 △経済データ分析実習 II	計量経済学 II 経済統計論			
C-2 国際経済等の諸問題を理解し、国際経済等についての学びを活用した実践的解決法を見出すことができる。	C-2 少人数で様々なテーマについて協力して研究を行う場であり、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を鍛える演習科目を、1年次より配置する。	◎基礎演習 I	まちづくり・ひとづくり実習	△基礎演習 II マクロ経済学実習 経済英語実習 経済情報処理実習	ミクロ経済学実習				
D-2 国際社会の変化に適切に対応するため、国際経済に関する専門知識を活用して今後の見通しを立てることができる。	D-2 経済学の実践的な知識と応用力を身に付け、世界の中での日本経済の諸課題を解決するための演習科目等を、3年次を中心に配置する。			△金融・ファイナンス実習		◎演習 I △キャリアのための資格 (2 単位) △キャリアのための資格 (4 単位)	△演習 II △卒業論文		

※◎は必修科目、△は選択必修科目を表す。